

水性ラスホールド

赤さびを黒さびに変化させガッチリさびをホールド！！

はじめに

赤さびは空気中の酸素と水分の働きでできた酸化鉄 (Fe_2O_3) です。塩分や酸はさびの進行を早めます。赤さびは酸に溶けやすく隙間の多い構造のため水分や酸素が中に入りやすくさびがどんどん広がり、やがて鉄全体を劣化させます。

一方、鉄を熱すると黒色に変化しますが、これが黒さびで鉄に空気中の酸素が結びついてできた四酸化三鉄 (Fe_3O_4) という物質です。四酸化三鉄は金属表面に隙間のない膜をつくるため鉄を酸素や水分から守る役割をします。身近なところでは鍬や鋤、鉄瓶や鍋などに使われています。

「水性ラスホールド」は、赤さびから黒さびへの変化を薬剤の力で化学的に行います。

特徴

1. さびの上から直接塗装できます。
表面の浮きさび(触って取れるようなさび)、剥がれかかった旧塗膜、油分汚れ等を取り除く(3種ケレン~4種ケレン程度)事により、さびの上に直接塗装できます。
本塗料は、さび転換機能付きですので、残ったさびに直接塗装することができ、さびの進行を止めます。

表 1. ケレンの作業内容

素地調整	処理方法	工具・工法
1種ケレン	さび、旧塗膜を完全に除去し、素地金属を露出させる	ショットブラスト、サンドブラスト等
2種ケレン	付着した塗膜は残し、さびや浮いた塗膜を除去する	電動工具(ディスクサンダー等)
3種ケレン	部分的な発錆面で、付着している塗膜は残し、浮きさびや剥がれかかった旧塗膜を除去するレベル。その他は地肌が現れている程度	手工具(ワイヤブラシ、スクレーパー等)
4種ケレン	さびの程度が低く、表面を洗浄するレベル	研磨布、マジックロン、サンドペーパー等

2. 水性の一液塗料で、施工が簡単、取り扱いやすい。
水性で人にやさしく安全性が高い塗料です。また、一液ですので取扱いやすく、薄めずそのまま塗れますので、施工が簡単です。

3. 亜鉛めっき面にも塗装ができます。
通常亜鉛めっき面には塗料が密着しにくく、塗装は困難とされてきました。しかし、本塗料は亜鉛めっき面の上にも密着が良好です。
4. 色々な塗料が上塗できます。
水性はもちろん油性塗料も上塗り可能です。
但し、上塗りする場合は、必ず目立たない場所で試し塗りして下さい。

使用方法

1. 鉄部表面の浮きさび、剥がれかかった旧塗膜は、ワイヤーブラシやサンドペーパー等で落とし、油分汚れ等は脱脂して下さい。(3種ケレン~4種ケレン程度)
2. 塗料を良く混ぜてから、必要量を別の容器(プラスチック製)に移して使用して下さい。
3. 塗料は無希釈のまま刷毛やローラーで塗装して下さい。塗りにくい場合は、5%以内で水道水を使用して薄めて下さい。
4. さび転換機能を高めるために、必ず2回以上重ね塗りして下さい。

用途

鉄部全般：スチール製品、門扉、フェンス、金網、鉄骨、鉄塔、ボルトなど

亜鉛めっき面：トタン、カラートタン、グレーチング、シャッター、金属サイディング、ビニールハウスの金属パイプなど

その他：自転車、農機具など

注意事項

1. 必ず浮きさびや、剥がれかかった旧塗膜、油分汚れ等は落として下さい。
2. 顔料が沈殿して塗料表面が黒っぽくなっていることがあります。塗装前には必ず良く攪拌してシルバー色になってからご使用下さい。
3. 1回目塗装後、2時間以上(20℃)経過してから2回目を塗装して下さい。
4. 上塗りに油性(溶剤)系の塗料を塗る場合は、必ず1日以上空けて塗膜の乾燥を確認後塗装して下さい。剥がれやチヂミが起こることがありますので、必ず目立たない場所で試し塗りして下さい。
5. 水性塗料ですので、気温5℃以下または湿度85%以上での使用は避けてください。成膜不良、乾燥不良を起こすことがあります。雨上がり等で塗る面が湿っている時は、塗膜の剥離や膨れ、乾燥不良の原因となりますので良く乾かしてから塗装して下さい。
6. 性能を充分発揮するために、無希釈で塗装して下さい。塗りにくい場合は、5%以内で水道水を使用して薄めて下さい。
7. さびと反応する成分が含まれていますので、一度使用した塗料はもとの容器に戻さないで下さい。
8. 使用した用具は使用後すぐに水で洗って下さい。また、他のところに付いた塗料は乾かないうちに、水(水道水)でぬらした布で拭き取ってください。乾いてからはなかなか取れません。